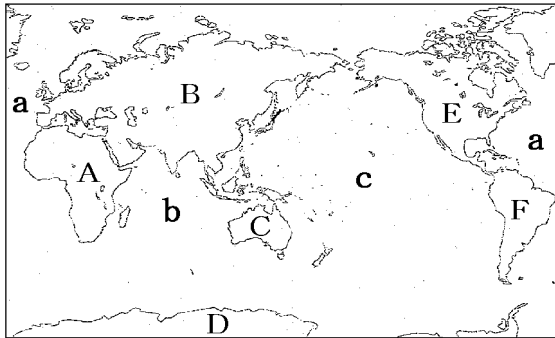


第 1 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.01
	世界の地域			

[問題 1]

次の各問いに答えなさい。

(1) 次の A～F の大陸の名を答えなさい。



- A まっすぐな国境線をもつ国が多い大陸。
 B 6つの大陸でいちばん面積の大きい大陸。
 C 6つの大陸でいちばん面積の小さい大陸。
 D 厚い氷でおおわれている大陸。
 E 南北が陸地につながっている大陸の、北の部分にあたる大陸。
 F E の大陸の南に位置する大陸。

(2) 地図中の a～c の大洋の名を書きなさい。

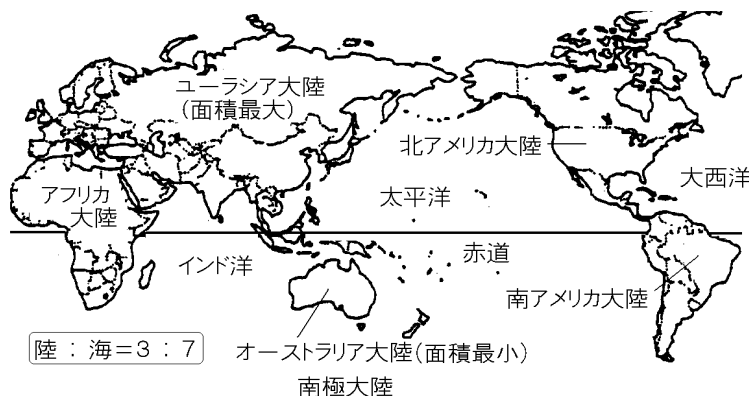
(3) 地球の陸と海の面積の割合を、次から選んで書きなさい。

[2 : 8 3 : 7 4 : 6 5 : 5]

[解答欄]

(1)A アフリカ大陸	B ユーラシア大陸	C オーストラリア大陸	D 南極大陸	E 北アメリカ大陸
F 南アメリカ大陸	(2)a 大西洋	b インド洋	c 太平洋	(3) 3 : 7

[解説]



[六大陸の面積順位]

- 1 ユーラシア大陸
- 2 アフリカ大陸
- 3 北アメリカ大陸
- 4 南アメリカ大陸
- 5 南極大陸
- 6 オーストラリア大陸

地球の陸地と海の面積比は、(陸地) : (海) = **3 : 7** である。三大洋は、大きい順に、**太平洋**、**大西洋**、**インド洋** である。太平洋の面積は全陸地の面積よりも大きい。いっぽう陸地は、大きなかたまりと多くの島々からなっている。大きなかたまりは大陸とよばれ、面積の大きい順に、**ユーラシア大陸・アフリカ大陸・北アメリカ大陸・南アメリカ大陸・南極大陸・オーストラリア大陸** の六大陸がある。

[問題 2]

次の文の()にあてはまる語句・数字を、下の[]から選びなさい。

地球は、表面積の(①)%ほどが海におおわれた水の星で、大きな海には、(②)・大西洋・インド洋の三大洋がある。日本海や地中海などは、三大洋に付属した小さな海である。いっぽう陸地は、大きなかたまりと多くの島々からなっている。大きなかたまりは大陸とよばれ、大きい順に、(③)・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・南極・(④)の六大陸がある。また、(⑤)は、地球をそのままの形で小さく縮めた模型である。

[30 70 地球儀 太平洋 オーストラリア ユーラシア]

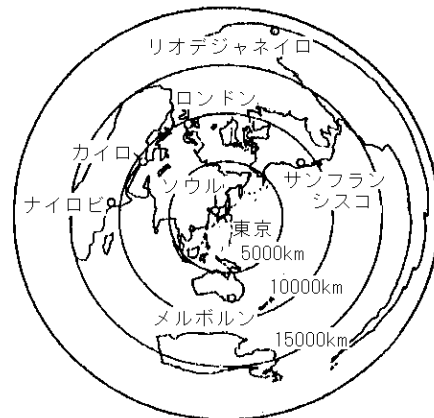
[解答欄]

① 70	② 太平洋	③ ユーラシア	④ オーストラリア	⑤ 地球儀
------	-------	---------	-----------	-------

[問題 3]

右の地図を見て問いに答えなさい。

- (1) この地図の図法は何といいますか。
- (2) 右図で、東京から見て北東にある都市と南にある都市の名前を答えなさい。
- (3) 右図で、東京からの距離が最も遠い都市のある国の名前を答えなさい。
- (4) 地図中のナイロビのある大陸の名前を答えなさい。



[解答欄]

(1) 正距方位図法	(2) 北東：サンフランシスコ 南：メルボルン
(3) ブラジル	(4) アフリカ大陸

[解説]

右図は正距方位図法で、中心からの方位と距離が正しくなるように作られている。

方位は、中心の真上が北である。中心の東京から見てオーストラリアのメルボルンは、真下なので南の方位にあることがわかる。アメリカのサンフランシスコは右上なので北東の方向である。

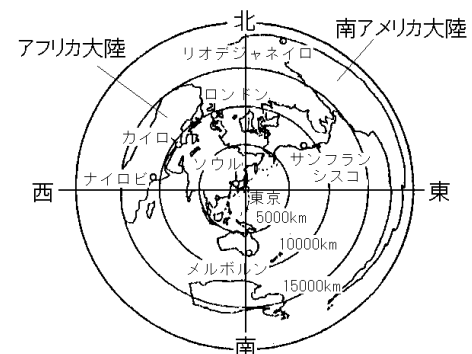
中心の東京からの距離は、同心円上のめもり(5000km、10000kmなど)で読み取る。ロンドンまでの距離は約 10000km であることがわかる。また、この中で、東京から一番遠くにあるのがリオデジャネイロ(ブラジルの都市)であることがわかる。

正距方位図法は、中心からの距離と方位のみが正確である。

したがって、中心以外の地点からの距離や方位を調べるのには使えない。

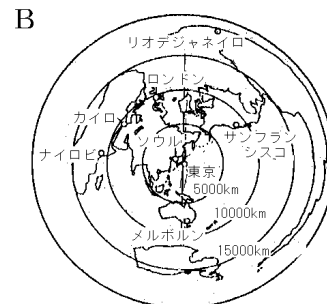
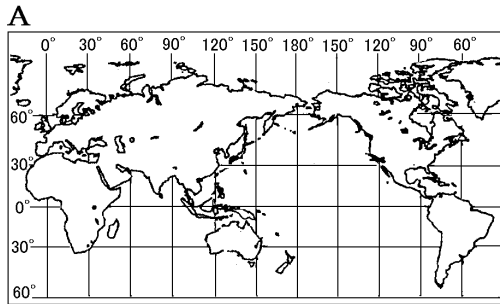
また、図のはしの部分(特に南アメリカ大陸とアフリカ大陸)では、大きなゆがみが生じる。

[正距方位図法](中心からの距離と方位のみ正確)

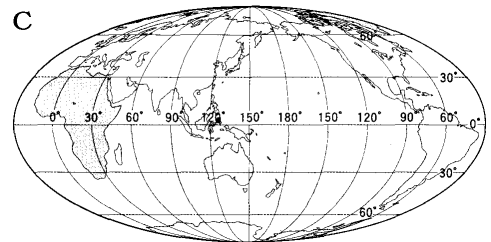


[問題 4]

A～C の図を見て、各問いに答えなさい。



- (1) 「中心地点からの距離と方向が等しい」図法は A～C のどれですか。記号で答えなさい。
- (2) (1)のような図法を何といいますか。
- (3) 等角航路を使って航海するときに使用されるものは A～C のどれですか。また、その図法の名を答えなさい。



[解答欄]

(1) B	(2) 正距方位図法	(3) A、メルカトル図法
-------	------------	---------------

[解説]

- A メルカトル図法：経線と緯線が直交(航海の海図用)
 B 正距方位図法：中心からの距離と方位が正しい(航空機用)
 C モルワイデ図法：面積が正しい(分布図用)

地球の表面は球面であり、方位・角・距離・面積などすべてを正確に平面になおすことはできない。そこで、目的に合わせて、方位・角・距離・面積のうち1つか2つだけが正確な地図を使うことになる。A はメルカトル図法で、**緯度と経線が直角に交わり、角が正しいので、等角航路を使って航海するときの海図に適している**。しかし、北極や南極に近づくと、実際より面積が大きく表示され、形も不正確になる。また方位も正しくない。B は正距方位図法で、この地図は**中心にした地点から各地への距離と方位が正しい**。地図上で飛行機の飛ぶ最短経路を、すぐに知ることができる。欠点は周辺部に行くにつれ、形や面積が不正確になる点である。C はモルワイデ図法で、**面積が正しくなるように描かれた地図で、分布図などに適している**。しかし北極や南極に近づくと形が見にくい。中央部から左右の端に行くほど形がゆがむ欠点もある。

[問題 5]

右の地図は何を正しく表したものですか。

[解答欄]

面積

